



開催地の産直来夢くん山田良也店長も活動事例を発表

魅力ある産直を目指し交流 いわて産直交流会 in 奥州

いわて産直交流会 in 奥州(いわて地産地消推進会議・同実行委員会主催)が11月19日、水沢区のJ A岩手ふるさと産直来夢くんで開催され、県内の産直や生産者、地産地消レストランの関係者など75人が参加しました。
(株)パイロットフィッシュ・商品開発コーディネーターの五日市知香さんが商品開発と販売のポイントについて講演したほか、参加者が活動を紹介しての座談会や、地元食材の料理を味わう交流会などで、新たな産直の方向性を探って活発な意見交換が行われました。

上質な漆を生母の地で再興 生母生産森林組合で漆植栽再開

前沢区の生母生産森林組合(那須川吉春組合長)が11月15日、同区生母字新田・字峠地内で22年11月以来5年ぶりに漆の植栽を行いました。国宝や重要文化財の建造物の修繕に、国産の漆を使用するよう文化庁が定めており、漆の生産減少に歯止めをかけるとともに、山林の再興を目的に行われたものです。

雨の中、植栽行った那須川組合長は「将来は漆の里として名を知られるようになりたい」と資材として使用できる10年、15年先を見据えていました。



唐鍬で茅を掻き越こし、40センチほどの苗木を植栽

温かな人間愛をもって尽力 江刺地区更生保護女性の会結成50周年

江刺地区更生保護女性の会(千田由利子会長)の結成50周年を祝い11月20日、ホテルニュー江刺新館イーズで記念式典が行われました。同会は、過ちに陥った人たちが社会の一員として心豊かに生きられるよう、女性らしさを発揮し、長く更生保護活動を続けています。

式典のあいさつに千田会長は「社会を明るくする運動への参加、創刊53号を数える江刺更女だよりの発行、地域社会に根差した活動。これら3本の矢を継続してほしい」と呼び掛けました。



気持ちを新たに「更生保護女性の会の歌」を歌う参列者

街なかで初のダンスフェス 第1回奥州ストリートキッズダンスフェスティバル

奥州ストリートキッズダンスフェスティバルが11月14日、水沢区のメイプルを主会場に開かれました。奥州エフエム放送(株)が主催する初のキッズダンスイベントに、市内外から15チームが参加。大人顔負けのダンスで詰め掛けた観客を魅了しました。

プロダンサーのKEN TOさんを審査員に迎えたコンテスト部門では、本市を中心に活動する「I L L T I M E」が優秀賞に輝き、岩手ビッグブルズ公式戦ハーフタイムショーへの出場権を獲得しました。



元気なダンスを披露し上位3チームに入った「I L L T I M E」



全国老人クラブ連合会 優良老人クラブ表彰 中野老人クラブ —幹線道路の清掃活動などで貢献—

水沢区真城の中野老人クラブ(小田原盛雄会長)が10月29日、全国老人クラブ大会の優良老人クラブ表彰を受けました。

同クラブは年2回、地域の幹線道路の早朝清掃活動を実施。また、チャレンジデーなどスポーツへの取り組みにも多くの会員が参加しており、多岐にわたる積極的な活動が評価されました。

小田原会長は「これからも親睦の和を広げ、まい進したい」と喜びの表情を浮かべ、小沢昌記市長は「みんなが参加し継続していることに価値がある。気負わず、引き続きクラブの活性化を」と期待を込めました。



農林水産大臣賞 鳴瀬振興組合 —豊かな地域づくり活動で貢献—

江刺区米里の鳴瀬振興組合(浅野輝夫組合長)が11月17日、27年度の「豊かなむらづくり全国表彰事業」において農林水産大臣賞を受賞しました。この表彰は、農山漁村のコミュニティを強化し、より豊かな地域づくりを目指すことを目的に実施しているものです。

同組合は、それまで集落ごとに取り組んできた農地保全活動を19集落で一体的に進め、新規作物の導入や農業の担い手の育成など、活力のある地域づくりが評価されました。浅野組合長は「賞に恥じないよう、今後も地域で協力して整備を進めていきたい」と気を引き締めました。



農林水産大臣賞 飯坂昇一氏 —全畜連肉用牛枝肉共進会で栄誉—

第44回全畜連肉用牛枝肉共進会が11月13日、東京食肉市場で開催され、J A岩手ふるさとが出品した飯坂昇一さん(69)＝前沢区白山＝の前沢牛が黒毛和種去勢の部で最優秀賞と農林水産大臣賞を受賞しました。

約40頭を肥育し年間20頭ほどを出荷している飯坂さんは、日頃から牛の健康管理には最善の注意を払うことが肥育の秘訣とし「地元肥育農家と話し合い、そして学び、ここまでやってきた。これからも前沢牛に格付けされる良い牛を生産していきたい」と前沢牛ブランドの発信に向け、力強く抱負を語りました。

姉妹都市
静岡県 掛川市

掛川だより

祝賀まつりで西郷局パレード

市制10周年の節目を祝う



沿道を埋め尽くした観衆に笑顔で応える西郷局と秀忠公

市制10周年記念事業「祝賀まつり」(同実行委員会主催)が、掛川駅北側の中心市街地で開催されました。徳川家康公の側室で、二代將軍秀忠公の生母「西郷局」が西郷地区出身であることから、家康公顕彰400年に合わせ西郷局パレードが華やかに行われました。

掛川大祭三大余興のひとつ「西町の奴道中」、中地区の「警護」などからなる総勢100人の行列が掛川城を出発。西郷局役は静岡放送アナウンサーの重長智子さんが、秀忠公役は西郷地区の鴨岡空くん(小学5年)が務め、観衆の声援に笑顔で応えました。また、「祭が創る掛川の和」をテーマに、市内から祭り屋台や祢里と呼ばれる山車42台が大集合。お互いの文化を披露し合い節目の年を祝いました。